

スペシャルイベント



〈参加無料〉

座席を確保されたい方は
上記のQRコードから
事前申込をおこなってください。

THE NEW WAVE OF ASIA

2026

5/31 SUNDAY

世界を動かすアジアポップ



Professor
SIM



Professor
OH



Vocalist
sEODo

ドラマ『哲仁王后(俺がクイーン!?)』
挿入歌『The Great Recipe (偉大レシピ)』

ドラマ『烈女バク氏契約結婚伝』
挿入歌『この世が僕らを引き裂いても』



Vocalist
Ji-Hyun

対象 在学生・一般

会場 同志社女子大学 (京田辺キャンパス)
新島記念講堂

申込 不要
ただし左上QRコードより座席確保が可能

お問い合わせ先 同志社女子大学メディア創造学科事務室
media-t@dwc.doshisha.ac.jp



公式サイト

13:00～16:30 開場12:30

同志社女子大学 京田辺キャンパス

世界を動かす アジアポップ

The New Wave of Asia

このたび、同志社女子大学と韓国・東亜放送芸術大学との学術連携を記念し、特別イベントを開催いたします。

東亜放送芸術大学は、韓国屈指のエンターテインメント、放送メディア系大学です。本イベントでは、両大学の教員によるトークセッションに加え、韓国から来日するアーティストによるミニライブを予定しております。さらに公開ワークショップでは、韓国で発展した独自のポップ音楽の魅力をご体験いただけます。

音楽とエンターテインメントの未来、そして日韓のつながりの可能性を、ともに感じていただける機会となれば幸いです。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご家族やご友人とお気軽にお越しください。



公式サイト

第1部 アジアポップ・スペシャルトーク

基調レクチャー：シム・ヒチョル教授

『BTS 新たな始まり～K-POPファンダム3.0～』

パネルディスカッション：シム・ヒチョル教授+小味渕准教授+川田教授

『ミュージックビジネスの未来～日韓コラボレーションの可能性～』

K-POPを中心とした音楽ビジネスの現在と、未来についてのトークセッションをおこないます。シム・ヒチョル教授によるBTSの成功秘話を題材に、K-POPの産業構造やグローバル展開などの実態について語り合います。また、同志社女子大学音楽学科の小味渕准教授とメディア創造学科の川田教授を交えて、日本の音楽と韓国の音楽との融合についても深掘りします。

第2部 ミニライブ

『VOCAL NEW WAVE～K-POP新時代のヴォーカリスト～』

アーティスト：ソド+パク・ジヒョン

次世代アーティストの実力を堪能できるライブステージです。sEODo BANDをはじめ、ドラマ『哲仁王后(俺がクイーン!?)』や『烈女パク氏契約結婚伝』などの挿入歌で知られるソド氏と、2025年韓中国際声楽コンクールで第2位の実力をもつパク・ジヒョン氏による圧倒的なヴォーカルパフォーマンスを通じて、伝統と現代が融合した音楽の魅力を体験することができます。みなさんが知っているK-POPの名曲だけでなく、J-POP曲のカバーも予定しています。

第3部 公開ワークショップ

『"ゴールデン"で学ぶK-POPヴォーカルのひみつ』

レッスン：オウ・ハンソン教授+井上特任教授

受講生：同志社女子大学学生、一般の応募者

メンター：ソド+パク・ジヒョン

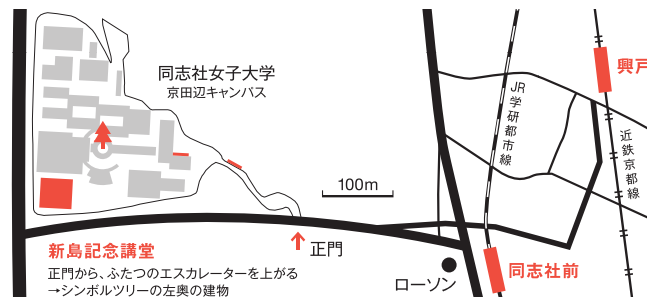
K-POPの実践的なヴォーカルレッスンを見学できる公開ワークショップです。多くの著名アーティストを指導してきたオウ教授の指導を生で観ることができます。今回の題材は、歌いこなすことがひじょうに難しいと言われる、映画『KPOPガールズ! デモン・ハンターズ』の主題歌『Golden』です。また、お越し頂いた観客全員とステージとの歌唱体験も予定しています。



座席確保



会場アクセス



- 【日時】2026年5月31日(日)13:00～16:30
【開場】12:30
【場所】同志社女子大学 新島記念講堂(京田辺キャンパス)
【対象】在学生・一般
【参加費】無料
【申し込み】不要
【座席確保】可能(左上の2番めのQRコードよりお申し込みください)
座席確保枠は定員になりました受付を終了させていただきます。
また、当日枠も満席となった場合は、ご入場いただけない場合がございます。あらかじめご了承ください。ご了承ください。
【アクセス】同志社女子大学京田辺キャンパス
〒610-0395 京都府京田辺市興戸
【主催】同志社女子大学(学芸学部音楽学科・メディア創造学科、国際部)
+ 東亜放送芸術大学
【協力】同志社女子大学音楽学会、メディア創造学会

東亜放送芸術大学(DIMA)

韓国の京畿道安城市にあるエンターテインメント・メディア分野に特化したアジア屈指の専門大学。UHDスタジオや大撮影スタジオなど最先端の実習環境を完備し、多くの著名なK-POPアーティストやクリエイターを輩出する「スターの登竜門」として知られる。世界の名門校を紹介するNHK、Eテレの『ニュー試』でも特別回として一時間にわたって紹介された。

[おもな卒業生と在学生]

ZICO (Block B)

ホシ (SEVENTEEN)

ソン・ハンビン (ZEROBASEONE)

クォン・ウンビ (元IZ*ONE)

キヒョン (MONSTA X)

チャン・ハヌム (BOYS II PLANET)

出演者プロフィール

シム・ヒチョル(Sim Hee-Chul)教授

東亜放送芸術大学に所属する、エンターテインメント経営およびK-POPビジネスの専門家。K-POPの世界戦略分析の第一人者として知られる。特長ある授業方法はNHK、Eテレの世界の名門校を紹介する番組でも取り上げられた。

オウ・ハンソン(Oh Han Sun)教授

ボストンの名門バークリー音楽大学出身。東亜放送芸術大学ではポップ音楽分野、ボーカル教育を担当。SMエンターテインメントでは長年、東方神起、SUPER JUNIOR、JYPでは2PMの歌唱指導を行った。2001年、韓国初のPOP歌唱の教本を出版。

ソド(sEODo)

シンガーソングライター。韓国の伝統音楽である国楽、R&B、ロック、エレクトロニックなどの現代音楽を融合させた独自ジャンル「チョソン・ポップ」を確立した。現在急速に注目を集めている。

パク・ジヒョン(Park Ji-Hyun)

東亜放送芸術大学にてボーカルを専攻する現役の学生。パワフルさと繊細さを兼ね備えた歌唱力とスモーキーな音色で、2025年韓中国際声楽コンクール第2位に輝いた。

小味渕彦之准教授

同志社女子大学学芸学部音楽学科准教授。アートマネジメントの専門家。音楽および舞台芸術分野における教育・研究・実践活動に取り組んでいる。

井上敏典 特任教授

同志社女子大学学芸学部音楽学科特任教授。オペラをはじめ声楽指導に定評がある。自然な発声方法と演奏効果へのアプローチについて研究している。

川田隆雄教授

同志社女子大学学芸学部メディア創造学科教授。学科主任。メディアとエンターテインメントを横断する教育・研究に取り組んでいる。

※文字通訳、手話通訳、場内誘導、座席の確保など配慮が必要な方は、原則として5月15日までにお知らせください。内容を確認の上、できる限りご要望にそえるよう努めてまいります。

お問い合わせ先：同志社女子大学メディア創造学科事務室

Tel.0774-65-8635 / media-t@dw.doshisha.ac.jp



同志社女子大学